久米保育園ってどんなところ？

目指す子どもの姿

子ども主体のあそびを保障する

のびのび遊ぶ子ども
自分で考える子ども
思いやりのある子ども

～生きる力を育むために～













子どもたちの「やってみたい」を大切に

子どもたちの中から生まれる興味や好奇心は、主体的な学びの始まりです。子どもたち一人ひとりの「やってみたい」という気持ちを大切にし、子ども自身が考え、遊び、試してみることのできる保育を大切にしています。





食を通して育む、豊かな心とからだ

食べることは、子どもたちのからだをつくるだけでなく、心を育てる大切な経験です。野菜を育て、収獲し、実際に食べてみる。食材に触れ、自分たちで料理をしてみる。「やってみたい！」という気持ちを大切にしながら、さまざまな食の体験を楽しみます。



地域の中で育つ子どもたち

当園は児童館との複合施設になっており、保育園と児童館の職員が連携をとっています。児童館の遊戯室を借りて、のびのびと体を動かして遊んだり JUMPJAM プログラムや対話型鑑賞を体験しながら子供たちの主体性や好奇心、自己肯定感を育んでいます。夏には来住廃寺祭りに参加し、地域の方との交流を楽しみながら社会性や豊かな心を培っていきます。



小学校へのかけ橋

久米小学校と隣接しており、架け橋期カリキュラムをもとに、交流活動や職員間の連携、情報交換を行い小学校へのスムーズな移行に努めています。交流活動では、小学校教諭による保育参観や園児が授業を参観したり、秋のお店屋さんに招待されたりしています。

